

せするのです。絵本を媒体に双方向のこころの通い合いが育っていく過程のなかで培われていくのではないかと思います。これによって、こどもたちだけでなく大人たちも変わっていくのではないかと思います。いろいろな問題が最近起こってきていますが、こどもたちだけではなく大人たちの問題でもあると思います。大人たちの心が貧困になってきているのもその理由の一つではないかと思います。以前は地域社会がいわなくても、まわりが自ずと支えあう社会ができていました。それが、核家族化が進み、地域社会の関係が希薄化していくにともなってそういうものがなくなってきました。それからすべてが学校に求められるようになってきているのです。先生の質は良くなければならないのですが、学校にも限りがありますし、学校は学力向上のための場であり、これからはそれを補う環境を整備していく必要があると思います。

**Q、こどものたちの環境についてお話しがありました、これからの青少年の活動についてお話しただけませんか。**

これからは、もっと体験学習活動が必要だと思います。1泊2日の短期的なものではなく、せめて1週間程度は田舎で生活したりさせる事が必要だと思います。体験活動にも三つあって一つは職場体験です。ニートが社会問題となっていますが、働かないのは無気力感だけではなく、何かしたいけれども、それがわからないというこどもがたくさんいるのではないかと思います。だから、小さいときから働く事の喜び、働くこととはどういうことかを徹底して学んでいく環境を与えていくべきだと思います。二つめは自然体験。自然の中で遊ぶ機会が減っています。こどもたちはそういう環境に慣れていないので、何をしたら良いのか分からないのです。はじめは面倒くさくてもやっていくうちに達成感や喜びを学んでいくのではないかと思います。経験しなければ学ぶ事ができないという事を教えていかなければならないと思います。きっかけ作りをしてあげるのが、大切ではないでしょうか。三つめは文化芸術体験です。歌舞伎やミュージカルなど最近では修学旅行でもコースに含むところも出てきているようですが、本物でなければ深い感動も得られませんので、とても大切だと思います。頭で考えるのではなく、肌で感じ取る。このような体験が小さいときから必要であると思います。すばらしいのだと思う心を養わなければならないと思います。これらは、保護者や学校、地域の連携がなければなりません。みんなが声を出していかなければなりません。そのきっかけを私は作りたいと思っています。地域や社会の中で、ふれあったり学ぶべきことはたくさんあります。もちろん学力や知育は必要ですが、もっと大切なのはそれを駆使する感性や能力を身に付けていくことだと思います。

**Q、ゆめっと京都でもいろいろな分野から参加している加盟団体の特性を生かした青少年の健全育成を図っていきたくと考えています。来年度には10周年を迎え青少年自らが考え成長していけるようなプランをと考えていますが、何かアドバイスをいただけませんか。**

新しいことをはじめするには予算はつきにくいのかもかもしれませんが、単なるイベントだけでは文化祭に終わってしまいます。たとえば、京都の特徴として、学生の街、お花やお茶などの伝統文化の街、各宗派の本山が集まった宗教の街などが挙げられます。こういった特性を生かしたシンポジウムを開くのも良いのではないのでしょうか。

様々な分野で構成されたネットワークですので、若い方だけではなく、幅広くいろいろな世代の方を巻き込んでいくかたちですすめても良いのではないかと思います。若い方が何かやろうとするとところに、若い方にはない叡智をそれぞれの立場により加えていくことで良いものになっていくのではないかと思います。みんなでふれあい、経験することが貴重な財産となるのではないのでしょうか。

池坊議員にはご公務ご多端な中お時間をいただき、青少年についての貴重なお話しをいただきました。ありがとうございました。